

次の文を読み、1～2の問題に答えよ。

74 歳男性、肝腫瘍の精査のために来院した。

【現病歴】28 歳時に HBV 陽性と診断されたが、通院を自己中断している。58 歳時の歯科治療時に肝機能障害が指摘され CT で肝臓前区域に 10cm 大の肝細胞癌を認めた。翌年拡大右葉切除が施行され、再発予防目的でシスプラチンを動注した。以後外来でエンテカビルが処方され通院していた。今回、定期の画像検索で肝 S3 区域に 23mm の乏血性腫瘍が出現した。

【既往歴】早期胃癌で ESD 施行。高血圧、脂質異常症。

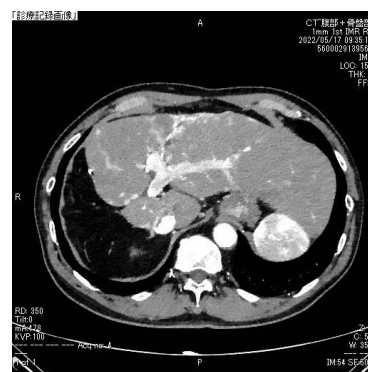
【現症】意識清明、身長 169 cm、体重 68 kg、体温 36.4 °C、脈拍 76 /分、血圧 120/63 mmHg。

【検査所見】血液所見：赤血球 505 万/ μ L, Hb 13.8 g/dL, Ht 42.6%, 白血球 5870 / μ L, 血小板 18.5 万/ μ L, 総蛋白 8.3 g/dL, アルブミン 4.6 g/dL, AST 45 U/L, ALT 38 U/L, LDH 267 U/L, ALP 98 U/L, γ -GTP 154 U/L, 尿素窒素 16 mg/dL, クレアチニン 1.02 mg/dL, Na 138 mEq/L, K 4.2 mEq/L, Cl 103 mEq/L, CEA 6.2 ng/dL, AFP 2 ng/dL, CA19-9 35 U/L, PIVKA II 15.0 U/L

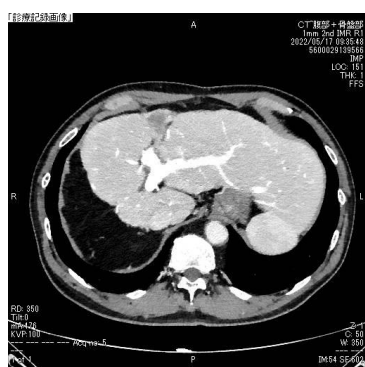
以下腹部 CT 所見を示す。



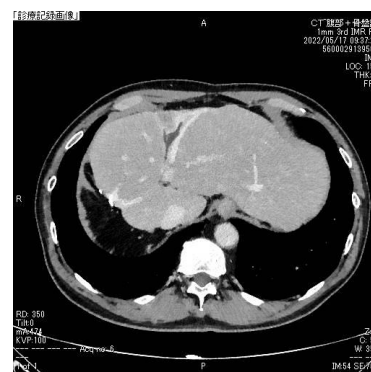
単純



動脈優位相



門脈優位相



平衡相

1、鑑別に挙がる疾患はどれか。三つ選べ。

A 肝細胞癌

- B 転移性腫瘍
- C 胆管細胞癌
- D 肝嚢胞
- E 肝血管腫

2、優先度の低い検査はどれか。

- A 下部消化管内視鏡
- B 胸部 CT
- C ICG 検査
- D ERCP
- E 上部消化管内視鏡

次の文を読み、1～2 の問題に答えよ。

74 歳男性。腹部膨満感を主訴に来院した。

【現病歴】 昨年から腹部膨満感が出現し、近医で上下部内視鏡が施行されたが異常は指摘されなかった。その後も症状が持続したため当科紹介受診した。過敏性腸症候群が疑われ、内服治療で経過観察されていた。その後の造影 CT で膵尾部に低吸収の腫瘍が指摘された。

【既往歴】 関節リウマチ、咽頭癌（放射線治療後）、前立腺肥大症、虫垂炎、左鼠径ヘルニア

【現症】 意識清明、身長 167 cm、体重 68 kg、体温 37.8 °C、呼吸数 16/分、脈拍 107 /分、血圧 112/64 mmHg。腹部は膨満、軟で圧痛なし。

【検査所見】 血液所見：赤血球 220 万 / μ L, Hb 7.3 g/dL, Ht 20.7%, 白血球 10910/ μ L, 血小板 14.2 万/ μ L, 総蛋白 5.8 g/dL, アルブミン 3.4 g/dL, AST 20 U/L, ALT 11 U/L, LDH 164 U/L, ALP 50 U/L, γ -GTP 18 U/L, 尿素窒素 53 mg/dL, クレアチニン 0.76 mg/dL, Na 133 mEq/L, K 4.4 mEq/L, Cl 95 mEq/L, CRP 1.45 mg/dL

以下 CT 所見を示す。



単純



造影

1、採血で追加する項目として優先度の低いものはどれか。

A IgG4

B DUPAN2

C AFP

D Span-1

E CEA

2、確定診断に必要な検査はどれか。

A EUS-FNA

B 選択的動脈内カルシウム動注法

C 上部消化管内視鏡

D 下部消化管内視鏡

E 腹部血管造影